



砂防ボランティア通信

NPO法人 大阪府砂防ボランティア協会

今年も九州地方が台風により、また北陸地方が能登半島及び中越沖地震により、激甚な災害を受けたところです。8月には気温が各地で40度を超え、74年ぶりに最高記録更新となりました。大阪府におきましても7月16日の豪雨により、14箇所です砂災害が発生しました（写真下）。いまさらながら、自然災害の恐ろしさを実感しています。

当協会は土砂災害防止にむけて、次のような活動を行って参りましたが、各地域で展開される種々のボランティア活動等により、今後更なる充実を図っていくことが重要であると再認識しているところです。

- ① 土砂災害防止のため、府内の土砂災害危険箇所の点検調査を行い、府、市町村、地域住民に報告、助言を行う。
- ② 土砂災害防止のための防災知識の啓発普及活動
- ③ 土砂災害防止技術の啓発普及のため、セミナー、シンポジウム、講習会等の開催
- ④ その他目的を達成するために必要な事業

これら事業の強化のため、行政機関との連携、会員の充実・意識の向上を図ることが肝要です。今年度は特に市町村との連携を強化するため、市町村関係者会員の拡充を図ってきたところ、7名の方々が新たに会員になりました。また、近年企業の社会的責任（CSR）が注目され、企業による防災活動などの社会貢献活動が活発になりつつあるなかで、8社（後掲）が当協会の活動方針にご賛同いただき入会されました。

このように組織の充実を図るとともに、これを踏まえ地域ネットワーク活動の具体化の取り組みを行うことが重要な課題であると考えておりますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

〔平成19年7月16日豪雨による大阪府の土砂災害〕



河内長野市小山田町 谷（1）地区



南河内郡河南町青崩 青崩地区

☆ 平成 19 年度の行事

① 平成 19 年度定例総会及び臨時総会

5月18日（金）TNJビルにおいて平成19年度総会が開催され、18年度事業報告、会費規程の改正ならびに19年度事業計画が説明され、原案通り可決されました。

特に、「正会員の入会金（1万円）を0円にする。」案件については、会員を増員し、府・土木事務所単位で市町村とともに地域ネットワークを強化していくことを目的としています。新規会員として、府OB8名、市町村OB7名、民間より3名の18名を迎え、正会員は70名となりました。また、賛助会員は、個人2名、企業8団体が新たに入会されました。（7月6日現在）

次に、大阪府発注の平成19年度斜面地調査を6月12日に受託契約したことから、7月6日（金）TNJビルにおいて、臨時総会を開催し、19年度補正予算、斜面地調査ならびに事務局の運営について審議・決定しました。地域ネットワーク活動の具体化については、次のとおり確認しました。

【地域ネットワーク活動の具体化】

土木事務所単位での会員の連絡・協力体制を編成しました。各ブロックでの活動の具体化のために砂防ボランティアと府・市町村がお互いの役割について話し合うことから始めてきたいと考えています。また、地元での具体的活動としてモデル地区での取り組みができないか検討が必要です。

	池田土木管内	茨木土木管内	枚方土木管内	八尾土木管内	富田林土木管内	鳳・岸和田土木管内
ブロック長	上畑憲光	丸山 明	下清水則男	川口恵司	吉田勝義	上島 保
副ブロック長	井上 整 中田 智	高木武康 小川 清	井上隆司 川崎茂晴	眞鍋英夫 鶴川 洋	沖田誠一 八木誠一	掛谷健一 野口司郎

② 会員研修会

ボランティア会員の知識の向上を図るため、今年度初めて会員研修会を7月6日（金）に開催しました。研修内容は、以下のとおりです。

- ・「大阪府砂防ボランティア協会の活動」 藤本光大 当協会理事
- ・「土砂災害とは」 藤井孝雄 当協会前理事
- ・「全国の土砂災害の特徴」 大阪府都市整備部河川室 小林威文主査
- ・「大阪府の危機管理について」 大阪府危機管理室 藤原常博課長補佐

参加者40名の盛況となりました。

③ その他

・砂防ボランティア全国連絡協議会

5月15日（火）に東京都（砂防会館）で開催され、国土交通省と47団体による情報交換を行いました。

・土砂災害対策訓練

6月1日（金）に土砂災害対策訓練が実施され、茨木市忍頂寺小学校において「土砂災害に関するお話」などの啓発活動を行いました。（写真右）



・砂防ボランティア全国のつどい及び土砂災害防止推進の集い

石川県で6月6日、7日に開催され、能登半島地震の被災状況の情報を得ました。

・土砂災害防止月間講演会

6月11日（月）“みんなで防ごう土砂災害”をテーマに、大阪府職員会館において講演会が行われ、30名の会員が参加しました。国土交通省河川局砂防部の渡 正昭氏と群馬大学教授の片田 敏孝氏の講演が行われました。

・大阪府・市町村合同土砂災害危険箇所パトロール（7土木事務所管内）

実施期間 6月7日（木）～19日（火）

参加人員 砂防ボランティア 14人

点検内容 急傾斜地 45箇所、土石流危険溪流 46箇所

④ 今後の予定

砂防施設見学会（11月）、砂防施設点検（11月）、講習会（兵庫県で1～2月頃）、現地研修会（2月）等の実施を予定しておりますので、奮ってご参加ください。

☆ 平成18年度（下半期）の行事報告

① 砂防施設見学会

平成18年11月7日（火）に、平成16年台風23号により大きな被害を受けた兵庫県淡路島の育波川災害関連事業および国営明石国営公園（関西国際空港土取り跡地）内にある灘川の修景流路工（写真右）、野島断層などを見学しました。阪神淡路大震災記念館の「人と防災未来センター」（神戸市）では、地震発生時の様子を迫力ある大映像で体験しました。39名が参加し好評でした。



② 砂防施設点検

大阪府土木事務所管内の砂防施設40箇所の点検に参加（11月9日～17日）

③ 土砂災害に関する講習会及び現地研修会

近畿2府4県持ち回り開催の「土砂災害に関する講習会」は平成12年から始まり第7回目となる今回は大阪府が担当し、1月31日（水）に大阪府職員会館多目的ホールで開催されました。参加者は154名でした。講師及び演題は、以下のとおりです。

- ・「大阪府ボランティア協会の活動について」 当協会 大江徹理事
- ・「危険箇所の判定について」 大阪府都市整備部河川室 小林康一主査
- ・「最近の砂防技術の進歩；天然ダムの形成とその対応」 京都大学 水山高久教授
- ・「平成18年度の土砂災害と最近の話題」 近畿地方整備局 森下淳建設専門官
- ・「異常気象と今後の防災気象情報」 大阪管区气象台 松村哲予報課長
- ・「砂防ボランティアの目指すもの」 砂防ボランティア全国協議会 田畑茂清会長

各テーマともに内容が充実しており大変有意義な講習会でした。

また、「斜面判定士」取得のため、3月20日（木）に、八尾市黒谷地区の流路工・急傾斜・地すべりについて現地研修会を実施し、新たに5名が判定士の認定を受けました。

④ その他

大阪府の地震防災訓練、八尾市の「市民の森ボランティア活動」、「箕面の自然と遊ぶ会」（財）日本自然保護協会などの行事に参加し、啓発活動を行いました。

☆ 土砂災害危険斜面等の緊急診断について

斜面地調査を開始してから6年目に入る今年度は、大阪府から一般競争入札で発注され、当協会が受注いたしました。

この調査は既存カルテを再点検するものですが、この機会を捉えて住民への啓発活動を行うことは、当協会の重要な役割のひとつです。現地調査は、10月～11月に予定しておりますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

① H19年度「土砂災害危険斜面等の緊急診断業務」概要

調査区域・箇所数 府下一円100箇所（池田・茨木・八尾土木管内）
 調査期間 平成19年6月12日～平成19年12月7日
 調査資格 業務実施時は斜面判定士を配置

② 調査実績表

危険箇所	府下全体	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	調査率
I	896	360	359	128	—	—	—	94.50%
II	1115	—	—	162	201	251	100 (予定)	55.10%
III	346	—	—	—	—	—	—	0

(I：人家5戸以上 II：人家1～4戸 III：人家なし)



平成18年度 調査・啓発活動状況

特定非営利活動法人 大阪府砂防ボランティア協会

〒541-0047 大阪市中央区淡路町1-6-2 TNJ大阪ビル6F

TEL/FAX 06-6208-1919

E-mail osakasabovo@tea.ocn.ne.jp

<http://www18.ocn.ne.jp/~o-sabo/>

砂防ボランティア募集中

当協会の活動に賛同され、熱意を持って行動できる方で、年齢、性別、経験（砂防に関する知識等）は問いません。



〔賛助会員（企業）〕

(株)浅沼組、(株)ウエスコ、(株)エヌイーエス、応用地質(株)、(株)奥村組、
 (株)修成建設コンサルタント、日本国土開発(株)、(株)ニュージェック